

鹿野ちゃれっじ2021 「果樹の里山プロジェクト」 地域と大学がつながるを鹿野から考える



大阪国際大学
国際教養学部 国際観光学科
久保由加里 研究室

4年 徳田瑞穂
3年 大西美穂・中野愛結
林あおい・原井川友梨
松原杏・三島優海
2年 高場未湧

- 1.「鹿野ちゃれっじ」とは
2. これまでの流れ
3. 2021年度の活動目標
4. 活動実施報告
5. 活動の成果と課題
6. 2022年度の活動目標

1.「鹿野ちゃれっじ」とは

鹿野町とは



・緑豊かな山々に囲まれた水田畑地が広がる地域

・戦国時代の鹿野城主、亀井茲矩によってつくられた城下町 地区では、400年の伝統ある「鹿野祭りの似合う町」テーマに、古民家が立ち並ぶ統一感ある町並みが魅力。鳥取県『県民の建物100選』に選ばれ、行政と住民によって保全されている。

・JR山陰本線浜村駅から車で約15分

・鳥取市街からは車で約30分



1.「鹿野ちゃれっじ」とは

「鹿野ちゃれっじ」とは

鹿野町の強みであるまちづくり、演劇、農業の3つを生かした、
体験と人とのめぐりあいを五感で楽しむプロジェクトとして誕生した観光交流事業。

チャレンジ(challenge)
+カレッジ(college)
の造語。



2014年 鹿野ちゃれっじを久保ゼミが検証

⇒ 2015年 農をクローズアップした「果樹の里山プロジェクト」に

1.「鹿野ちゃれっじ」とは

「果樹の里山プロジェクト」とは

鹿野町・河内地区の耕作放棄地を「果樹の里山」へ。

「果樹の里山をデザインする」をテーマに、人々が行き交う空間づくりを目指している。



〈地域の現状と課題〉

- ・地域の過疎化・高齢化の進行
- ・公共交通機関が減便され、日用品や食料品の購入、医療機関への通院等も不便になっている
- ・空き家の増加
- ・農地を維持管理する集落営農組織の育成が十分でない
- ・耕作できなくなる農業者が年々増加しており、耕作放棄地も増加する一方にある

・世帯数:84

・人口:166

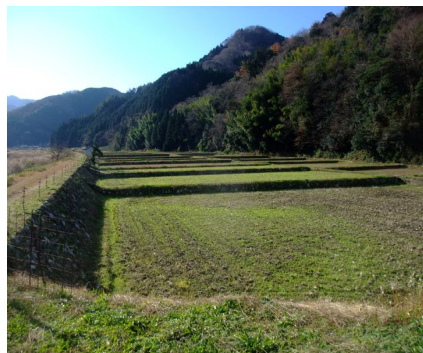
・高齢化率:約55%(令和4年1月31日現在、鳥取市役所調べ)

・鷲峰山や河内川、法師が滝、棚田など豊かな自然に囲まれた魅力ある地域

1.「鹿野ちゃれっじ」とは

「果樹の里山プロジェクト」とは

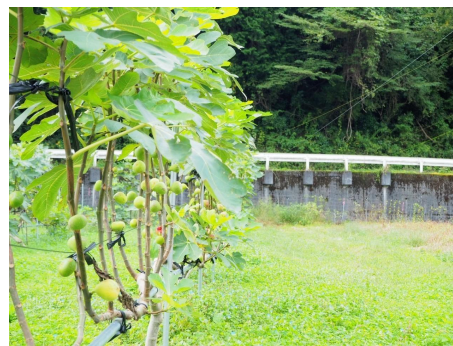
鹿野町・河内地区の耕作放棄地を「果樹の里山」へ。
「果樹の里山をデザインする」をテーマに、人々が行き交う
空間づくりを目指している。



河内の耕作放棄地
(2014)



果樹の苗植え
(2015)



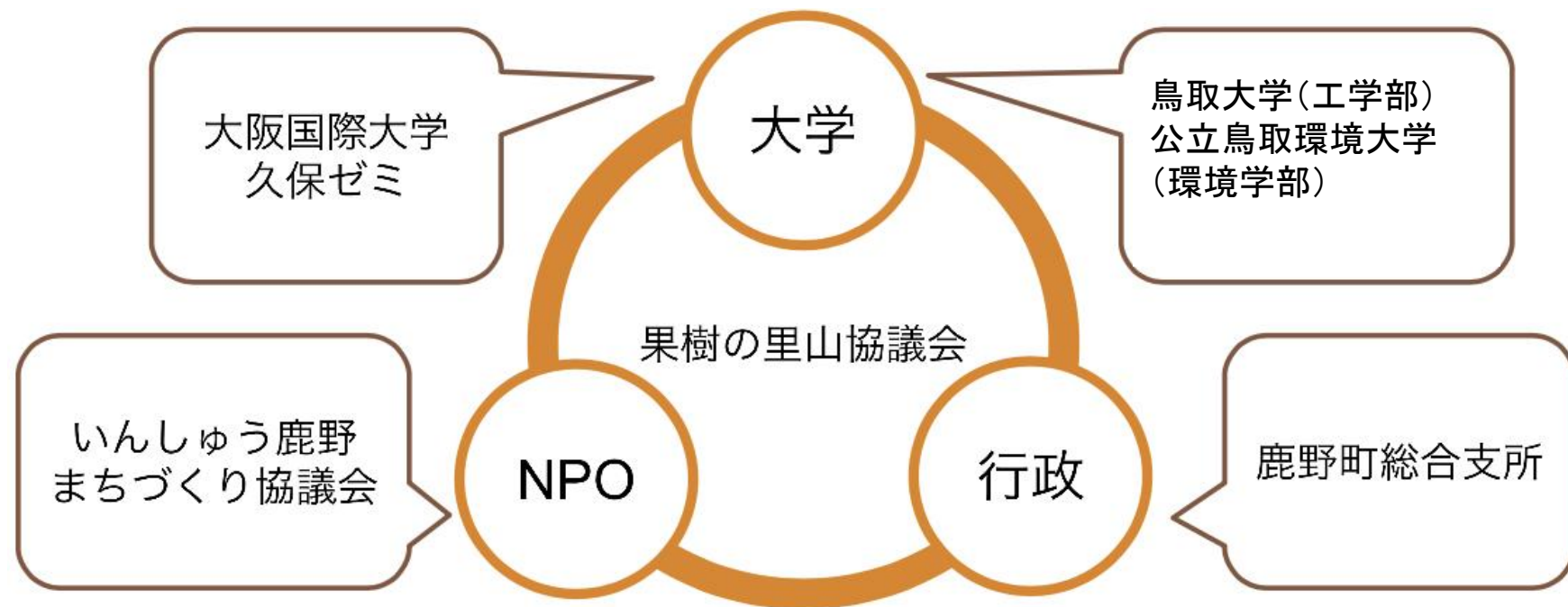
耕作放棄地を
「果樹の里山」へ
(2018)



イベント開催
(2019～)

1.「鹿野ちゃれっじ」とは

「果樹の里山プロジェクト」関係メンバー



2.これまでの流れ

鹿野町 × OIU 地域づくりまでのプロセス

①交流



来訪者と地元の人が交流し
また訪れたい空間を目指した

スタートした当時は、地元の方々と大
学生で壁があったが、
お好み焼きをふるまうことで
信頼関係を築くことから始めた

②協働



学生たちは果樹の里山メンバーから、
苗植えや道の整備のやり方を
教わりながら共に作業をした

新しいものを作り出すための
環境づくり

③共創



地域の方だけでなく
行政の方と今後の方針を
話し合い(産官学ミーティング)
活動計画を立てていった

④創造



地域イベントや大学間交流などの新
しい活動を開始した

地域の方々がイベントの運営に
中心となって参加いただける
ようになった

人々が集まり交流ができる場を創出
した

3. 2021年度の活動目標

2021年度の活動目標

1. 第2回 果樹の里山まつり開催
2. 他大学との連携強化
3. 次世代(1・2年生)への情報発信
4. SNSでの情報発信

4.活動実施報告

2021年度 活動スケジュール

	活動内容
4月	写真撮影・オンライン会議1回
5月	オンライン会議1回
6月	オンライン会議1回
7月	オンライン会議2回
10月	果樹の里山収穫祭・オンライン会議 2回
11月	観光学概論収録
12月	大学間交流
1月	動画制作・オンライン会議2回
2月	動画制作・オンライン会議6回
3月	動画制作・オンライン会議1回

4.活動実施報告

オンライン会議

	会議内容
4月30日	週末のまちみせ OIU企画 考案
5月16日	週末のまちみせ OIU企画 企画案
6月1日、7月19.29日	週末のまちみせ OIU企画 具体案
10月10日	果樹の里山収穫祭 事前準備
10月11日	果樹の里山収穫祭 スケジュール決め
1月23日	鹿野ちゃれっじ動画制作 構成内容、担当決め
1月26日、2月2.9.16.20.23.27日	鹿野ちゃれっじ動画制作 制作状況報告、発表、訂正
3月1日	鹿野ちゃれっじ動画制作 経過報告

4.活動実施報告

果樹の里山収穫祭 ～前日 準備～



果樹の里山収穫祭の前日 10月15日に鹿野町を訪問し、まず、鳥取市鹿野町総合支所で対談を行った。次に河内に行き、収穫祭で販売するピザの生地作り、いちじくドライフルーツの包装を手伝った。

「しかの心」で小林さんからいんしゅう鹿野まちづくり協議会の取組についてお話を聞き、鹿野町のまちづくりへの取り組み、果樹の里山プロジェクトの取組について理解を深めた。



4.活動実施報告

果樹の里山収穫祭

～当日～

ピザ窯完成！



コロナ禍だったため、去年の果樹の里山まつりより規模を縮小しての開催だった。感染症対策により、当日の運営に私たちが関わることができなかったが、事前準備や会場設営など手伝い、イベント成功に力を注いだ。収穫祭開催中、私たちは動画制作の素材撮影、フットパスの検証を行った。

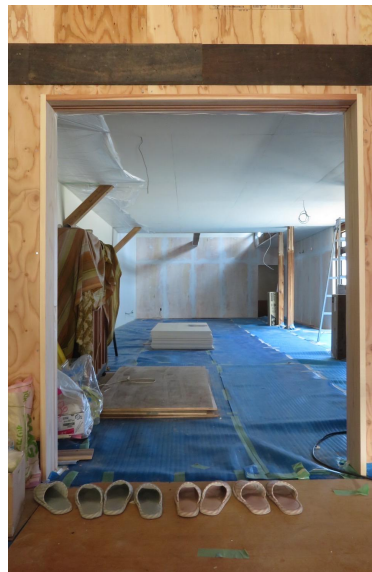
10月16日、果樹の里山収穫祭を開催。来訪者は、いちじく狩り、ピザを食べるなどして楽しんだ。



4.活動実施報告

大学間交流

「大学間交流」 2021年12月16日 しかの心



鳥取大学工学部、鳥取環境大学環境学部との交流会を行った。各大学の活動紹介から始まり、空地の活用についてのグループワークとフィールドワークを実施し、アイデアを出し合った。その後、城下町フットパスを行い、リノベーション中の「山根洋裁店」を見学した。ここは地域住民や大学生の交流の場として利用される。

4.活動実施報告

メディア出演

放送局「いなばぴょんぴょんネット」鳥取市広報番組『とっとり知らせたい！』出演 2021年11月19日・20日放送



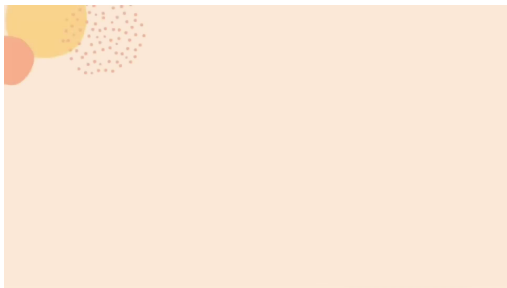
※放送の様子はYouTubeで視聴できます。

果樹の里山収穫祭開催中、地元のテレビ局に取材を受けた。

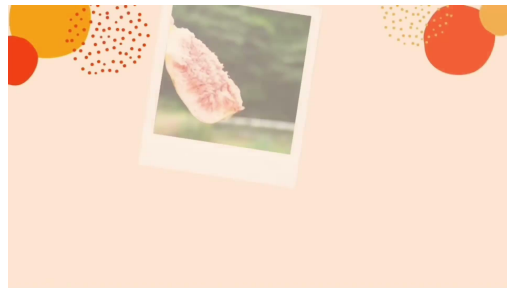
4.活動実施報告

動画制作

鹿野ちゃれっじの活動や鹿野町を紹介する動画を制作



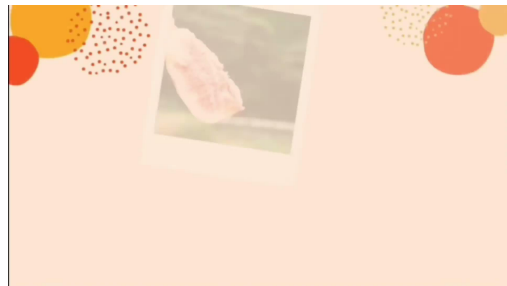
～活動紹介編～



～まちづくり編～



～河内編～

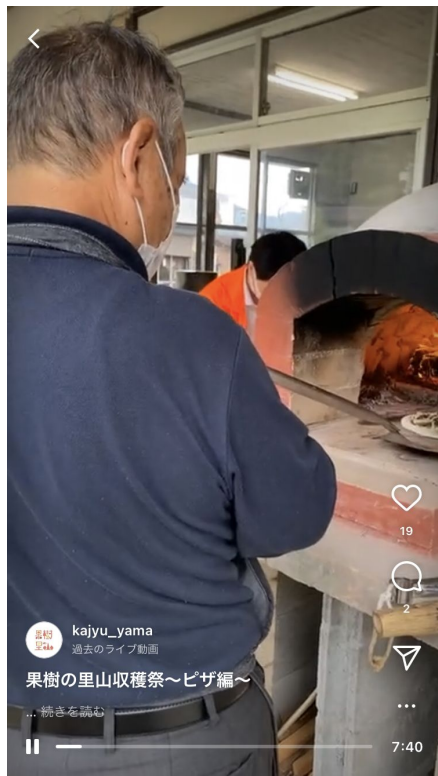
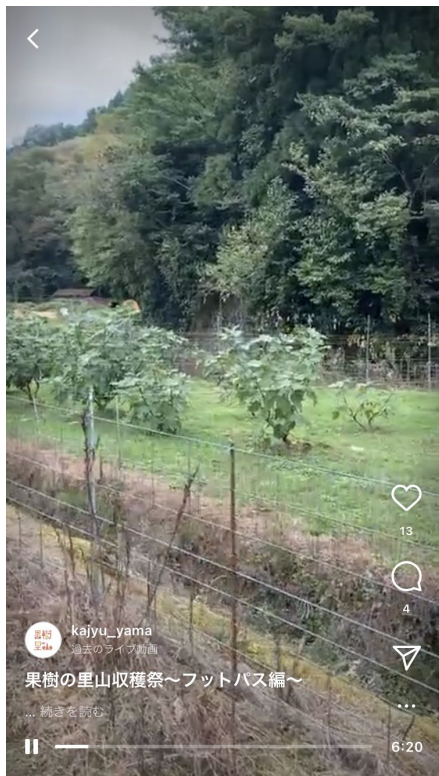


～城下町編～

4.活動実施報告

SNSでの情報発信

果樹の里山収穫祭のインスタライブ



果樹の里山インスタグラムを活用し、イベントの準備や当日の様子をライブ配信で伝えた。

5. 活動の成果と課題

活動の成果

- ★ コロナ禍での観光交流空間の創出（マイクロツーリズム）
- ★ 動画やインスタグラムで情報発信
- ★ 定期的なオンライン会議

5. 活動の成果と課題

★コロナ禍での観光交流空間の創出



活動の成果

- 新しいメンバーも増え8人体制となり、コロナ禍でもメンバー全員で鹿野を訪れることができた。実際に行き、自分たちの目で見て、肌で感じることで、知識だけでは理解できない鹿野町の魅力を知ることができた。
- 全員で鹿野を訪れ学ぶことで、次の活動でやりたいことなどをそれぞれ考えながら活動ができ、アイデアの共有もしやすい。
- 他大学、地域の方々と一緒に協力して活動ができた
- それぞれの研究専門分野を活かして、まちづくりに相乗効果を生むことができる。
また、他大学生の取り組みから多くを学ぶことができる。



5. 活動の成果と課題

活動の成果

★定期的なオンラインミーティング



- 感染症対策で実際に集まって会議や活動することが難しかったため、ZOOMを使ってオンライン会議を行った。イベントに向けての事前準備や活動内容、動画作成の内容など話し合った。

→定期的に行うことで、活動の状況把握や、進捗状況の共有がすぐにできた。

5. 活動の成果と課題

活動の成果

★動画やInstagramで情報発信

- 鹿野町で自分たちが実際に撮影した写真や動画を用いて、4つの動画を制作した。どの動画を担当するか分担して行い、アフレコやアレンジを加えてオリジナルの動画を制作した。

→自分たちで鹿野町の魅力を発信するツールを作ることによって、学生の視点から情報発信ができる。昨年度の情報発信をするという目標が達成できた。

- Instagramのライブ機能を使ってイベントの様子をリアルタイムで発信できた。

→大学生はSNSを使用するので、次世代に活動の様子を知ってもらいやすい。



5. 活動の成果と課題

2021年度の課題

1. 主体性が低い
⇒ 定例会を行い、学内での交流を深める
2. 事前準備の不足
⇒ 計画的・スピード感をもって活動する
3. 地域・他大学の学生間での連携不足
⇒ SNSの強化

6. 2022年度の活動目標

2022年度の目標

1. 学内での活動を増やす
2. 事前準備をしっかりと行う
3. まち協との連携をより強化し、スムーズに活動を行う
4. SNSでの情報発信の機会を増やし、フォロワーを増やす

6. 2022年度の活動目標

2022年度の目標(活動計画)

・学内

いちじくジャムのPR・販売
いちじくを使った学生向けの活動紹介・懇親会
メンバーの定例会

・鹿野町城下町 @山根洋裁店(改:クチュール鹿野)

リノベーションされた洋裁店での新たな交流空間の創出
(例)ジャムカフェ、お料理教室、そば打ち、ビブリオバトル

・鹿野町河内

コロナ禍での果樹の里山まつり(果樹の里山収穫祭)の開催

・SNS

インスタグラムの定期的な更新



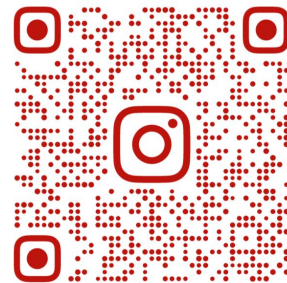


果樹の里山 公式SNS

Facebook



Instagram



KAJYU_YAMA

最後に、この活動にご支援をいただいた
地域協働センター並びにご支援・ご協力いただいた
全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。